

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公表番号】特表2010-501569(P2010-501569A)

【公表日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2009-525624(P2009-525624)

【国際特許分類】

A 0 1 N	59/16	(2006.01)
C 1 1 D	3/48	(2006.01)
C 1 1 D	7/26	(2006.01)
C 1 1 D	7/20	(2006.01)
C 1 1 D	7/38	(2006.01)
C 1 1 D	7/18	(2006.01)
C 1 1 D	9/50	(2006.01)
A 0 1 N	59/00	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/22	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 Q	5/02	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/38	(2006.01)
A 6 1 P	31/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/327	(2006.01)
A 6 1 K	31/045	(2006.01)
A 6 1 K	31/047	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	33/34	(2006.01)
A 6 1 K	33/38	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/40	(2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N	59/16	A
C 1 1 D	3/48	
C 1 1 D	7/26	
C 1 1 D	7/20	
C 1 1 D	7/38	
C 1 1 D	7/18	
C 1 1 D	9/50	
A 0 1 N	59/00	A
A 0 1 N	25/02	

A 0 1 P 3/00  
 A 6 1 K 8/22  
 A 6 1 K 8/34  
 A 6 1 K 8/19  
 A 6 1 Q 5/02  
 A 6 1 Q 19/10  
 A 6 1 Q 19/00  
 A 6 1 Q 11/00  
 A 6 1 K 8/38  
 A 6 1 P 31/02  
 A 6 1 K 31/327  
 A 6 1 K 31/045  
 A 6 1 K 31/047  
 A 6 1 K 33/24  
 A 6 1 K 33/34  
 A 6 1 K 33/38  
 A 6 1 P 17/00 1 0 1  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 31/10  
 A 6 1 P 33/00  
 A 6 1 K 33/40

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月11日(2010.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) i) 水、

i i) 0.001wt%から10.0wt%のペルオキシゲン、および

i i i) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクルの含量に基づいて0.001重量ppmから50,000重量ppmの遷移金属またはその合金

を含むが、

ただし、アルデヒドを実質的に含まない、水性消毒薬組成物。

【請求項 2】

塩素含有成分、臭素含有成分、ヨードフォア含有成分、フェノール含有成分および4級アンモニウム含有成分を実質的に含まない、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

前記アルコールが0.1wt%から10wt%で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項 4】

前記アルコールがメタノール、エタノール、プロパノール、ブタノール、ペンタノール、グリセロールおよびそれらの混合物から選択されるC<sub>1</sub>～C<sub>24</sub>アルコールである、請求項1に記載の組成物。

【請求項 5】

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub> アルコールが多価アルコールである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記遷移金属またはその合金が、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金、銀、それらの合金、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記遷移金属またはその合金がコロイド状の遷移金属またはその合金である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記コロイド状の遷移金属がコロイド銀である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記遷移金属またはその合金がイオン性の遷移金属である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記遷移金属またはその合金が 15 重量 ppm から 1500 重量 ppm で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ペルオキシゲンが、過ギ酸、ペルオキシ酢酸、ペルオキシシュウ酸、ペルオキシプロパン酸、過乳酸、ペルオキシブタン酸、ペルオキシペンタン酸、ペルオキシヘキサン酸、ペルオキシアジピン酸、ペルオキシクエン酸、ペルオキシ安息香酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される過酸である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.05 wt % から 5.0 wt % で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.1 wt % から 3.0 wt % で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.1 wt % から 1.5 wt % で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記ペルオキシゲンが過酸化物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記過酸化物が過酸化水素である、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記過酸化物が、過酸化ナトリウム、過酸化マグネシウム、過酸化カルシウム、過酸化バリウム、および過酸化ストロンチウム、ならびにこれらの混合物からなる群から選択される金属過酸化物である、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記ペルオキシゲンが過酸および過酸化物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記ペルオキシゲンが、過マンガン酸塩、過ホウ酸塩、過塩素酸塩、過酢酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、およびそれらの組合せからなる群から選択される過酸塩である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 20】

消毒用ワイプとして織地に含浸されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 21】

消毒用ゲルを形成するために前記水性組成物に混合されている増粘剤またはゲル化剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 22】

消毒用フォームを形成するための発泡剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 23】

シャンプー、石鹸、ゲル、クリームもしくは軟膏、練り歯磨き、または口内リンスからなる群から選択される個人用衛生製品に調合される、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 24】

請求項 1 ～ 23 のいずれか一項に記載の消毒薬組成物と表面を接触させることを含む、表面を消毒する方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0006】

本発明のさらなる特徴および利点は、以下の、例示によって本発明の特徴を説明する、発明を実施するための最良の形態から明らかになる。

本発明は、例えば以下の項目を提供する。

## (項目 1)

a) i) 水、

ii) 0.001 wt % から 10.0 wt % のペルオキシゲン、および

iii) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクルの含量に基づいて 0.001 重量 ppm から 50,000 重量 ppm の遷移金属またはその合金

を含むが、

ただし、アルデヒドを実質的に含まない、水性消毒薬組成物。

## (項目 2)

塩素含有成分および臭素含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 3)

ヨードフォア含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 4)

フェノール含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 5)

4 級アンモニウム含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 6)

前記アルコールが 0.001 wt % から 40 wt % で存在する、項目 1 に記載の組成物

。

## (項目 7)

前記アルコールが 0.05 wt % から 20 wt % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 8)

前記アルコールが 0.1 wt % から 10 wt % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 9)

前記アルコールが C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub> アルコールである、項目 1 に記載の組成物。

## (項目 10)

C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub> アルコールが、メタノール、エタノール、プロパノール、ブタノール、ペンタノール、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項目 9 に記載の組成物。

## (項目 11)

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub> アルコールが多価アルコールである、項目 9 に記載の組成物。

## (項目 12)

前記多価アルコールがグリセロールである、項目 11 に記載の組成物。

( 項目 1 3 )

前記多価アルコールがアルコール基を 2 個含む、項目 1 1 に記載の組成物。

( 項目 1 4 )

前記多価アルコールがアルコール基を 3 個含む、項目 1 1 に記載の組成物。

( 項目 1 5 )

前記遷移金属またはその合金が V I 族から X I 族の遷移金属またはその合金である、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 1 6 )

前記遷移金属またはその合金が X 族から X I 族の遷移金属またはその合金である、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 1 7 )

前記遷移金属またはその合金が、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金、銀、それらの合金、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 1 8 )

前記遷移金属またはその合金がコロイド状の遷移金属またはその合金である、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 1 9 )

前記コロイド状の遷移金属がコロイド銀である、項目 1 8 に記載の組成物。

( 項目 2 0 )

前記コロイド状の遷移金属またはその合金が  $0.001\ \mu\text{m}$  から  $1.0\ \mu\text{m}$  の平均粒径を有する、項目 1 8 に記載の組成物。

( 項目 2 1 )

前記コロイド状の遷移金属またはその合金が  $0.030\ \mu\text{m}$  から  $0.5\ \mu\text{m}$  の平均粒径を有する、項目 1 8 に記載の組成物。

( 項目 2 2 )

前記遷移金属またはその合金がイオン性の遷移金属である、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 2 3 )

前記遷移金属またはその合金が 15 重量 ppm から 1500 重量 ppm で存在する、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 2 4 )

前記ペルオキシゲンが過酸である、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 2 5 )

前記過酸が脂肪族の過酸である、項目 2 4 に記載の組成物。

( 項目 2 6 )

前記過酸が芳香族の過酸である、項目 2 4 に記載の組成物。

( 項目 2 7 )

前記過酸が、過ギ酸、ペルオキシ酢酸、ペルオキシシュウ酸、ペルオキシプロパン酸、過乳酸、ペルオキシブタン酸、ペルオキシペンタン酸、ペルオキシヘキサン酸、ペルオキシアジピン酸、ペルオキシクエン酸、ペルオキシ安息香酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項目 2 4 に記載の組成物。

( 項目 2 8 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.05 wt % から 5.0 wt % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 2 9 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.1 wt % から 3.0 wt % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

( 項目 3 0 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.1 wt % から 1.5 wt % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

(項目 3 1 )

前記ペルオキシゲンが過酸化物を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 3 2 )

前記過酸化物が過酸化水素である、項目 3 1 に記載の組成物。

(項目 3 3 )

前記過酸化物が金属過酸化物である、項目 3 1 に記載の組成物。

(項目 3 4 )

前記金属過酸化物が、過酸化ナトリウム、過酸化マグネシウム、過酸化カルシウム、過酸化バリウム、および過酸化ストロンチウム、ならびにこれらの混合物からなる群から選択される、項目 3 3 に記載の組成物。

(項目 3 5 )

前記過酸化物がペルオキシ水和物である、項目 3 1 に記載の組成物。

(項目 3 6 )

前記過酸化物が *in situ* で生成される、項目 3 1 に記載の組成物。

(項目 3 7 )

前記過酸化物が過炭酸ナトリウムから生成された過酸化水素である、項目 3 6 に記載の組成物。

(項目 3 8 )

前記ペルオキシゲンが過酸および過酸化物を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 3 9 )

前記ペルオキシゲンが過酸塩である、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4 0 )

前記過酸塩が、過マンガン酸塩、過ホウ酸塩、過塩素酸塩、過酢酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、およびそれらの組合せからなる群から選択される、項目 3 9 に記載の組成物。

(項目 4 1 )

消毒用ワイプとして織地に含浸されている、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4 2 )

消毒用ゲルを形成するために前記水性組成物に混合されている増粘剤またはゲル化剤をさらに含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4 3 )

約 5  $\mu\text{m}$  から約 200  $\mu\text{m}$  の粒径を有するエアロゾル化した消毒薬の形態の、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4 4 )

消毒用フォームを形成するための発泡剤をさらに含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4 5 )

シャンプー、石鹸、ゲル、クリームもしくは軟膏、練り歯磨き、または口内リンスからなる群から選択される個人用衛生製品に調合される、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4 6 )

a) i) 水、

i i) 0.001 wt % から 10.0 wt % のペルオキシゲン、および

i i i) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクルの含量に基づいて 0.001 重量 ppm から 50,000 重量 ppm のコロイド銀またはその合金

を含む水性消毒薬組成物。

(項目 4 7 )

アルデヒド、塩素含有成分および臭素含有成分、ヨードフォア含有成分、フェノール含有成分、および 4 級アンモニウム含有成分を実質的に含まない、項目 4 6 に記載の組成物。

(項目 4 8 )

前記アルコールが 0.001 wt % から 40 wt % で存在する、項目 46 に記載の組成物。

(項目 49)

前記アルコールが 0.1 wt % から 10 wt % で存在する、項目 46 に記載の組成物。

(項目 50)

前記アルコールが多価アルコールである、項目 46 に記載の組成物。

(項目 51)

前記コロイド銀またはその合金が、銀と、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、または金との合金である、項目 46 に記載の組成物。

(項目 52)

前記コロイド銀またはその合金が 0.001  $\mu$ m から 1.0  $\mu$ m の平均粒径を有する、項目 46 に記載の組成物。

(項目 53)

前記遷移金属またはその合金が 15 重量 ppm から 1500 重量 ppm で存在する、項目 46 に記載の組成物。

(項目 54)

前記ペルオキシゲンが過酸である、項目 46 に記載の組成物。

(項目 55)

前記過酸が脂肪族の過酸または芳香族の過酸である、項目 54 に記載の組成物。

(項目 56)

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.05 wt % から 5.0 wt % で存在する、項目 46 に記載の組成物。

(項目 57)

消毒用ワイプとして織地に含浸されている、項目 46 に記載の組成物。

(項目 58)

消毒用ゲルを形成するために前記水性組成物に混合されている増粘剤またはゲル化剤をさらに含む、項目 46 に記載の組成物。

(項目 59)

約 5  $\mu$ m から約 200  $\mu$ m の粒径を有するエアロゾル化した消毒薬の形態の、項目 46 に記載の組成物。

(項目 60)

消毒用フォームを形成するための発泡剤をさらに含む、項目 46 に記載の組成物。

(項目 61)

シャンプー、石鹸、ゲル、クリーム、軟膏、練り歯磨き、または口内リンスからなる群から選択される個人用衛生製品に調合される、項目 46 に記載の組成物。

(項目 62)

a) i) 水、

ii) 0.001 wt % から 10.0 wt % のペルオキシゲン、および

iii) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクル含量に基づいて 0.001 重量 ppm から 50,000 重量 ppm の遷移金属またはその合金

を含む消毒薬組成物と表面を接触させることを含む、表面を消毒する方法。

(項目 63)

前記アルコールが 0.05 wt % から 40 wt % で存在する、項目 62 に記載の方法。

(項目 64)

前記アルコールが 0.1 wt % から 10 wt % で存在する、項目 63 に記載の方法。

(項目 65)

前記アルコールが C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub> アルコールであり、メタノール、エタノール、プロパノール、ブタノール、ペンタノール、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項

目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 6 )

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub> アルコールが多価アルコールである、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 7 )

前記多価アルコールがグリセロールである、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 8 )

前記遷移金属またはその合金が、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金、銀、それらの合金、およびそれらの混合物からなる群から選択される V I 族から X I 族の遷移金属またはその合金である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 9 )

前記遷移金属またはその合金がコロイド状の遷移金属またはその合金である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 0 )

前記コロイド状の遷移金属がコロイド銀である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 1 )

前記ペルオキシゲンが、過ギ酸、ペルオキシ酢酸、ペルオキシシュウ酸、ペルオキシプロパン酸、過乳酸、ペルオキシブタン酸、ペルオキシペンタン酸、ペルオキシヘキサン酸、ペルオキシアジピン酸、ペルオキシクエン酸、ペルオキシ安息香酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される過酸である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 2 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0 . 0 5 w t % から 5 . 0 w t % で存在する、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 3 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0 . 1 w t % から 3 . 0 w t % で存在する、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 4 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0 . 1 w t % から 1 . 5 w t % で存在する、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 5 )

前記ペルオキシゲンが過酸化物を含む、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 6 )

前記過酸化物が、過酸化水素、過酸化ナトリウム、過酸化マグネシウム、過酸化カルシウム、過酸化バリウム、および過酸化ストロンチウム、ならびにこれらの混合物からなる群から選択される、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 7 )

前記ペルオキシゲンが過酸および過酸化物を含む、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 8 )

前記ペルオキシゲンが、過マンガン酸塩、過ホウ酸塩、過塩素酸塩、過酢酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、およびそれらの組合せからなる群から選択される過酸塩である、項目 6 2 に記載の方法。